

京都大学

KYOTO UNIVERSITY

日本語版



京都大学への留学案内
ADMISSIONS GUIDE
for INTERNATIONAL APPLICANTS

2019-2020



京都大学は、1897年6月に創設された伝統ある大学です。メインキャンパスは、歴史的都市として伝統的日本文化がいまなお保存されている京都に位置しています。創設以来、本学は高等教育における自由な伝統的学風の創設に寄与してきました。本学の卒業生は、国の内外で学問、政治、産業、その他社会の重要な分野において貢献しています。

現在、本学は10学部、18大学院、他に13の研究所、23のセンターと附属機関によって構成されています。約23,000人の学生の中には約110の国と地域の留学生がおおよそ2,500人含まれ、国際色豊かなキャンパスを構成しています。

京都大学の4つの強み

1

最先端の研究力

京都大学には優れた研究者が集います。世界中から様々なバックグラウンドを持つ研究者や学生が訪れ、それぞれが専門とする分野の研究はもちろんのこと、最先端かつ多彩な研究を行っています。それを可能としているのが、京都大学の伝統である「自由の学風」です。

研究者は自らの興味に従い、研究を進める。この伝統こそが、多くの国際的な賞を受賞した理由であるといえるでしょう。

この豊かな学問的研究の中で、あなたも学ぶことができます。



2

将来の国際的リーダーを育てる教育

京都大学の学生たちは、将来、さまざまな分野でのリーダーとなるために、のびのびとした環境のなかで学習をし、また多様な経験を積んでいきます。あなたは、京都大学が提供する数多くの授業のなかから自分の将来に役立つ授業を選び、学ぶことができます。また、サークル活動やボランティア活動のような課外活動を通じて、積極的に行動する「実行力」を身に付けることができるでしょう。そのような経験を通して、将来、世界に評価される指導的な役割を果たす力が養われるでしょう。



3

歴史的な京都で学ぶ

京都は8世紀から19世紀までの1000年以上の間、日本の首都であり、それゆえ政治と文化の中心でした。いまなお数多く残る歴史的建築物や文化財のうち、清水寺や金閣寺などの約17もの寺社仏閣が世界文化遺産として登録されている文化都市であり、美しい自然が共生する観光都市でもあります。あなたはこの町で落ち着いて学習し、深い思索を行うことができます。また、京都は先端産業の街でもあります。日本を代表する電子産業企業が多数集まっており、京都大学はそのような企業と連携してイノベーションを創出しています。ぜひ京都で学びましょう。



4

卓越した研究

京都大学はその高度で独創的な研究でよく知られた、アジアで最も有名な大学の一つです。その業績は、フィールズ賞、ガウス賞、ラスター賞そして10名のノーベル賞受賞者を含む卒業生や研究者によって証明されています。ノーベル賞受賞者には、日本初のノーベル賞受賞者である湯川秀樹博士（1949年物理学賞）、先駆的なiPS細胞研究者である山中伸弥博士（2012年生理学・医学賞）、がん免疫療法の発展に貢献した本庶佑博士（2018年生理学・医学賞）が含まれます。



目次

① 大学紹介

- 3 留学生
- 4 教育・研究組織
2019年度学年暦

② 私費留学生として入学するためには

正規生（学位取得を目的とする）として入学

- 5-6 - 学士課程
- 7-8 - 修士課程・博士課程・専門職学位課程
- 9-10 - 大学院入学試験募集要項配付時期一覧
- 11-16 - English-Taught Degree Programs

非正規生（学位取得を目的としない）として入学

- 17 - 研究生
 - 交換留学生
- 18 - 奨学金付き夏期研究プログラム（理系学部生対象）
 - 短期交流学生

③ 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学するためには

- 19-20 奨学金等
応募方法

④ 授業料・奨学金制度

- 21 授業料・授業料免除
奨学金制度

⑤ 生活費・住まい・留学生支援

- 22 生活費
京都大学国際交流会館
民間の住居
- 23 日本語教育
チューター制度
学内相談窓口
京都大学留学生ラウンジ「きすな」

⑥ 査証・在留資格・その他の情報

- 24 入学試験のための「短期滞在」査証
入学のための「留学」査証
在留カード
居住地の届出（住民登録）
国民健康保険
アルバイトについて

⑦ 資料

- 25-26 私費留学生対象奨学金一覧
- 27-28 事務室連絡先
- 29 キャンパス
- 30 京都の魅力と生活

留学生

2018年5月現在、京都大学では約110の国と地域からの留学生2,474名が学んでいます。

課程別学生数

(2018年5月現在)

総学生数 (留学生数)

正規生	22,484 (1,971)人
学士課程	13,117 (240)人
修士課程	5,036 (736)人
博士課程	3,621 (892)人
専門職学位課程	710 (103)人
非正規生	905 (503)人

留学生数上位5学部・研究科

(2018年5月現在)

学部・研究科	留学生数 (学部・修士・博士・非正規生)	人
工学部/研究科	540 (152・157・182・49)	人
総合人間学部/ 人間・環境学研究科	234 (6・71・74・83)	人
農学部/研究科	216 (20・90・82・24)	人
経済学部/研究科	201 (39・73・47・42)	人
情報学研究科	166 (0・87・54・25)	人

留学生の内訳

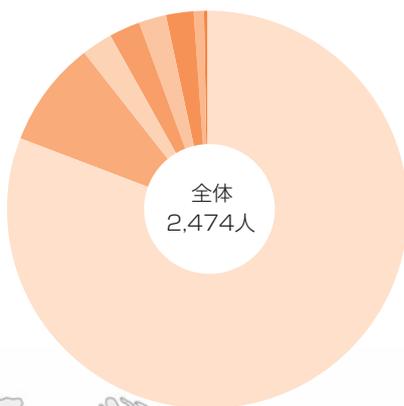
(2018年5月現在)

日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生	: 572人
私費留学生	: 1,902人

地域別留学生数 (2018年5月現在)

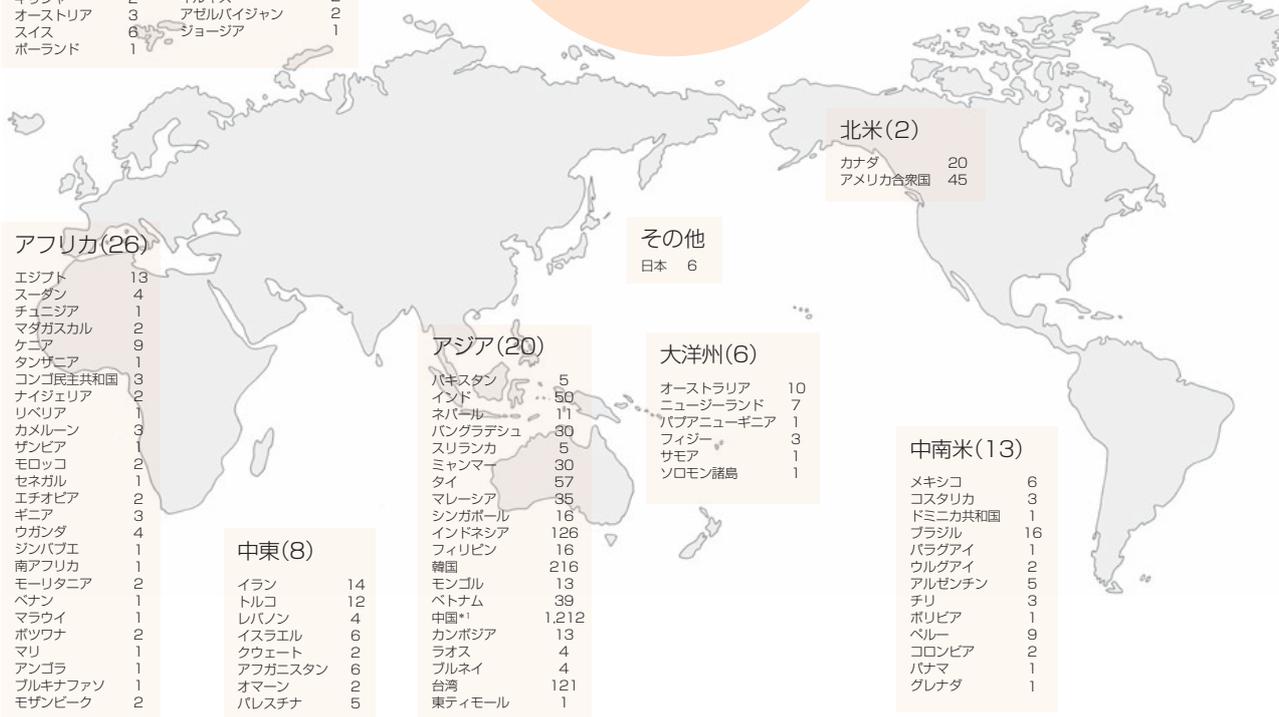
欧州 (NIS諸国を含む) (37)

アイスランド	1	ハンガリー	5
フィンランド	2	ルーマニア	4
スウェーデン	5	ブルガリア	2
ノルウェー	4	アルバニア	1
デンマーク	1	ロシア	17
アイルランド	2	エストニア	3
英国	16	ラトビア	2
ベルギー	4	リトアニア	3
ルクセンブルク	2	ウクライナ	4
オランダ	8	ウズベキスタン	2
ドイツ	30	カザフスタン	5
フランス	40	クロアチア	1
スペイン	8	スロベニア	1
ポルトガル	3	マケドニア・北マケドニア共和国	1
イタリア	14	コソボ	1
ギリシャ	2	キルギス	2
オーストリア	3	アゼルバイジャン	2
スイス	6	ジョージア	1
ポーランド	1		



- アジア 2,004名 81.0%
- 欧州 (NIS諸国を含む) 209名 8.4%
- 北米 65名 2.6%
- アフリカ 65名 2.6%
- 中南米 51名 2.1%
- 中東 51名 2.1%
- 大洋州 23名 0.9%
- その他 6名 0.2%*

*その他は日本国籍保持者



*1 香港・マカオを含む

教育・研究組織

(2018年12月現在)

正規生（学位取得を目的とする）および非正規生（学位取得を目的としない）の受入を行なっているのは、学部および大学院です。その他、一部の研究所およびセンターでも研究生（非正規生）を受入れています。

学部(10)

総合人間学部
文学部
教育学部
法学部
経済学部
理学部
医学部
薬学部
工学部
農学部

附置研究所(13)

化学研究所
人文科学研究所
ウイルス・再生医科学研究所
エネルギー理工学研究所
生存圏研究所
防災研究所
基礎物理学研究所
経済研究所
数理解析研究所
複合原子力科学研究所
霊長類研究所
東南アジア地域研究研究所
iPS細胞研究所

大学院(18)

文学研究科
教育学研究科
法学研究科
経済学研究科
理学研究科
医学研究科
薬学研究科
工学研究科
農学研究科
人間・環境学研究科
エネルギー科学研究科
アジア・アフリカ地域研究研究科
情報学研究科
生命科学研究科
総合生存学館
地球環境学舎
公共政策教育部（公共政策大学院）
経営管理教育部（経営管理大学院）

教育研究施設等(15)

学術情報メディアセンター
放射線生物研究センター
生態学研究センター
野生動物研究センター
高等教育研究開発推進センター
総合博物館
フィールド科学教育研究センター
福井謙一記念研究センター
こころの未来研究センター
文化財総合研究センター
学生総合支援センター
大学図書館
アフリカ地域研究資料センター
白眉センター
学際融合教育研究推進センター

高等研究院(KUIAS)

物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)
ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)

2019年度学年暦

4月1日 前期（春学期）始まり	10月1日 後期（秋学期）始まり
4月5日 入学式	10月12日 秋季入学式
6月18日 創立記念日	11月21日～24日 11月祭
8月6日～9月30日 夏季休業	12月28日～1月5日 冬季休業
9月24日 博士学位授与式	3月23日 大学院学位授与式
9月30日 前期（春学期）終わり	3月24日 卒業式
	3月31日 後期（秋学期）終わり

【正規生】 学士課程

ここでは、私費留学生*として京都大学の学士課程へ入学するための資格や方法を、簡単に説明します。各学部の出願資格、選抜方法、学位の授与等の詳細については、入学を希望する学部の事務室へ直接問い合わせてください。

学位取得を目的としない、研究生や交換留学生（特別聴講学生と特別研究学生）等の非正規生として本学へ入学を希望する場合は、17-18ページを参照してください。

英語による学位取得コース（学士課程）は、2011年より工学部地球工学科で開設されました。このコースの詳細については、11-12ページを参照してください。

*日本政府（文部科学省）奨学金留学生として本学に入学を希望する場合は、19-20ページを参照してください。

学部 学科一覧

本学には10の学部があり、学士課程を有しています。各学科の内容については、当該学部のホームページを参照してください。

■ 京都大学：<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/>

学部	学科
総合人間学部	総合人間学科
文学部	人文学科
教育学部	教育科学科
法学部	
経済学部	経済経営学科
理学部	理学科
医学部	医学科（6年制）
	人間健康科学科
薬学部	薬科学科
	薬学科（6年制）
工学部	地球工学科、建築学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、工業化学科
農学部	資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科

講義言語

英語による学位取得コースを除いて、授業や試験は通常日本語で行われます。特に、学士課程、修士課程、専門職学位課程に入学を希望する者は、入学時に十分な日本語能力を備えている必要があります。

また、本学には日本語だけを学ぶための日本語学科はありません。日本語を勉強してから入学することが望ましいです。

学位の授与

本学に4年以上または6年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得、卒業の審査に合格した者には、学士の学位が授与されます。

修業年限は、医学部医学科・薬学部薬学科が6年、その他の学部・学科は4年です。

英語による学士課程コースは、2011年より工学部地球工学科で開設されました。英語の学位取得課程については、11-12ページを参照してください。

出願資格概要

出願者は、各学部が設定した出願資格に該当しなければなりません。また、出願書類を提出する前に、出願資格の審査が必要になる場合があります。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。下記は主な出願資格です。

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者。（2020年3月31日までに修了見込みの者を含む）。
- 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格を有する者等）。

選抜方法等

原則として日本人と同じ選抜方法（一般入試等）により入学者を決定していますが、経済学部・薬学部・工学部については、私費外国人留学生特別選抜試験を実施しています。入学の時期は4月です。

● 私費外国人留学生特別選抜試験

経済学部・薬学部・工学部で実施しています。この試験を受験するためには、JASSO(日本学生支援機構)が実施するEJU(日本留学試験)に加え、TOEFL、各学部が設定する出願資格、学力試験、面接試験等の基準を満たさなければなりません。また、出願書類を提出する前に、出願資格の審査があります。下記の表は2019-2020学年暦の入試に関する日程です。日程は変更の可能性あります。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。不明な点などがある場合は、当該の学部事務室に問い合せてください。

学部	募集要項（日本語のみ）		出願資格審査書類の提出時期	出願時期	入試時期	入学時期
	配付予定時期	Website				
経済学部	7月	http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/	10月下旬	1月上旬	2月下旬	4月
薬学部	6月	http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/	11月下旬	1月下旬	2月下旬	
工学部	11月上旬	http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja	11月中旬	1月上旬	2月下旬	

● 外国学校出身者のための選考

法学部経済学部では、日本以外の国の学校を卒業した人のための特別試験を実施しています。法学部においては日本人と外国人の志願者からの申し込みを受け付けています。経済学部においては日本人の志願者からの申し込みのみを受け付けています。詳細は各学部の募集要項を確認ください。

● Kyoto University International Undergraduate Program (Kyoto iUP)

Kyoto iUPは、6ヶ月の予備教育と4年の学士課程からなる4.5年のプログラムであり、受入段階での日本語能力は不問です。プログラム開始後の充実した日本語教育と、1・2年次の英語（または日本語）による教養・共通教育を経て、概ね3年次以降から、各自の選んだ専門分野を日本語で学び、卒業時には学士の学位を得ることができます。（<http://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>）

● 一般入試

一般入学試験では大学入試センターの実施する大学入試センター試験に加えて、各学部が実施する個別学力検査を受験しなければなりません。

大学入試センター試験は、例年1月に実施されます。詳細は、大学入試センター（<http://www.dnc.ac.jp/>）へ照会してください。

例年、個別学力検査の出願期間は1月下旬で、試験は2月下旬に実施されます。個別学力検査の詳細は、教育推進・学生支援部入試企画課に確認してください。

● 第3年次編入学試験

法学部・経済学部で実施しています。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。

● 学士入学試験

文学部・教育学部・医学部人間健康科学科は、大学を卒業した者および卒業見込みの者を対象に、総合人間学部・理学部・工学部（国際コースを除く）は京都大学を卒業した者および卒業見込みの者を対象に実施しています。詳細は、各学部の募集要項を確認してください。

【正規生】修士課程・博士課程・専門職学位課程

ここでは、私費留学生*として京都大学の修士課程、博士課程、または専門職学位課程へ入学するための資格や方法を、簡単に説明します。各研究科等の出願資格、選抜方法、学位の授与等の詳細については、入学を志望する研究科等事務室へ直接問い合わせてください。学位取得を目的としない、研究生や交換留学生（特別聴講学生と特別研究学生）等の非正規生として本学へ入学を希望する場合は、17-18ページを、英語による学位取得コースについては、11-16ページを参照してください。

*日本政府（文部科学省）奨学金留学生として本学に入学を希望する場合は、19-20ページを参照してください。

研究科等 専攻一覧

本学には18の研究科等があり、修士課程・博士（後期）課程・一貫制博士課程・専門職学位課程を有しています。各専攻の内容については、当該研究科等のホームページを参照してください。

■ **京都大学**：<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/>

研究科等	学位課程		専攻
文学研究科	修士課程	博士後期課程	文献文化学、思想文化学、歴史文化学、行動文化学、現代文化学、京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境（修士課程のみ）
教育学研究科	修士課程	博士後期課程	教育学環
法学研究科	修士課程	博士後期課程	法政理論
	専門職学位課程		法曹養成（法科大学院）
経済学研究科	修士課程	博士後期課程	経済学
理学研究科	修士課程	博士後期課程	数学・数理解析、物理学・宇宙物理学、地球惑星科学、化学、生物科学
医学研究科	博士課程（4年制）		医学、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携
	修士課程	博士後期課程	医科学
	専門職学位課程	博士後期課程	社会健康医学系
	修士課程	博士後期課程	人間健康科学系
薬学研究科	博士課程（4年制）		薬学
	修士課程	博士後期課程	薬科学、医薬創成情報科学
工学研究科	修士課程	博士後期課程	社会基盤工学、都市社会学、都市環境工学、建築学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、材料工学、電気工学、電子工学、材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学
農学研究科	修士課程	博士後期課程	農学、森林科学、応用生命科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、食品生物科学
人間・環境学研究科	修士課程	博士後期課程	共生人間学、共生文明学、相関環境学
エネルギー科学研究科	修士課程	博士後期課程	エネルギー社会・環境科学、エネルギー基礎科学、エネルギー変換科学、エネルギー応用科学
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程（5年一貫制）		東南アジア地域研究、アフリカ地域研究、グローバル地域研究
情報学研究科	修士課程	博士後期課程	知能情報学、社会情報学、先端数理工学、数理工学、システム科学、通信情報システム
生命科学研究科	修士課程	博士後期課程	統合生命科学、高次生命科学
総合生存学館(思修館)	一貫制博士課程（5年制）		総合生存学
地球環境学舎	博士後期課程	博士後期課程	地球環境学
	修士課程		環境マネジメント
公共政策教育部(公共政策大学院)	専門職学位課程		公共政策
経営管理教育部(経営管理大学院)	専門職学位課程		経営管理
	博士後期課程		経営科学

講義言語

英語による学位取得コース（P.11-16）を除いて、授業や試験は通常日本語で行われます。特に、学士課程、修士課程、専門職学位課程に入学を希望する者は、入学時に十分な日本語能力を備えている必要があります。

本学には、日本語だけを学ぶための日本語学科はありません。

学位の授与

● 修士課程

修士課程に2年以上在学し、研究指導を受け、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、修士論文の審査に合格した者に対し、修士の学位が授与されます。

● 専門職学位課程（法科大学院を除く）

専門職学位課程に2年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得した者に対し、修士（専門職）の学位が授与されます。

● 専門職学位課程（法科大学院）

専門職学位課程に3年以上在学し、定められた単位数を修得した者に対し、法務博士（専門職）の学位が授与されます。

● 博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、研究指導を受け、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、博士論文の審査に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

● 医学研究科医学専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻、および薬学研究科薬学専攻の4年制博士課程

博士課程に4年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、研究指導を受け、博士論文の審査に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

● アジア・アフリカ地域研究研究科、および総合生存学館（思修館）博士課程（5年一貫制）

5年以上在学し、定められた授業科目および単位数を修得するとともに、研究指導を受け、博士論文の審査に合格した者に対し、博士の学位が授与されます。

出願資格概要

出願者は、各研究科等により設定された出願資格に該当しなければなりません。以下は、出願資格からの主な抜粋です。また、出願書類を提出する前に、出願資格の審査が必要になる場合があります。詳細は、研究科等のウェブサイトに掲載されている募集要項などで確認してください（9-16ページを参照）。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室へ問い合わせてください。

● 修士課程、専門職学位課程、アジア・アフリカ地域研究研究科、および総合生存学館（思修館）博士課程（5年一貫制）

- 日本において、大学を卒業した者
- 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者*
- 当該研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

● 博士後期課程

- 日本において、修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を取得した者
- 外国において、本学研究科の修士課程、又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- 当該研究科が修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

● 医学研究科医学専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻、および薬学研究科薬学専攻の4年制博士課程

- 日本において、大学における修業年限が6年の課程（医学、歯学、薬学または獣医学を履修する課程に限る）を卒業した者
- 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者*
- 当該研究科が大学（医学、歯学、薬学または獣医学を履修する修業年限が6年の課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

* 外国の学校教育における16年（4年制博士課程の場合は18年）に満たない課程を修了した者でも、一定の要件を満たした場合には出願することが可能です。詳細は、研究科等のウェブサイトに掲載されている募集要項などで確認してください（9-16ページを参照）。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室へ問い合わせてください。

選抜方法等

大学院の入学者選考試験は、研究科毎に出願時期や試験日程等が異なります。出願書類を提出する前に、出願資格の審査が必要になる場合があります。選考試験は、おおむね専門科目・外国語科目および口述試験により実施されます。入学の時期は4月ですが、一部の研究科では10月入学も実施しています。

詳細は、研究科等のウェブサイトに掲載されている募集要項などで確認してください（9-16ページを参照）。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室へ問い合わせてください。

大学院入学試験募集要項配付時期一覧

枠内の月は、当該選抜の学生募集要項の配布予定時期を示します。また、2ヶ月以上併記されている場合は、一次募集と二次募集の当該選抜の学生募集要項の配布予定時期を示します。英語で学位を取得するコースについては11-12ページをご参照ください。

なお、新年度の日程は、変更の可能性があります。下記のウェブサイトで最新情報をご確認ください。不明な点などがある場合は、入学を希望する研究科等事務室へ問い合わせてください。

外国の大学を卒業し、京都大学に研究生または大学院生として入学を希望する志願者は、希望する研究科等への出願手続の前にアドミッション支援オフィス(Admission Assistance Office;AAO)での照会手続を行ってください。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

☑ **京都大学「外国の大学を卒業した方へ」**

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aa.html>

修士課程 (2018年12月現在)

研究科等	募集要項配布時期				Website
	4月入学		10月入学		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
文学研究科	5月・10月*1	—	—	—	www.bun.kyoto-u.ac.jp/
教育学研究科	6月*2	6月	—	—	www.educ.kyoto-u.ac.jp/
法学研究科 (法政理論専攻)	6月	7月	—	—	law.kyoto-u.ac.jp/
経済学研究科	6月	—	11月	—	www.econ.kyoto-u.ac.jp/
理学研究科	5月	12月 *3	5月*4	12月 *3-4	www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/
医学研究科 (医科学専攻)	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 (人間健康科学系専攻)	6月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学研究科	5月	10月	—	6月	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
工学研究科	5月*5	11月*5	—	—	www.t.kyoto-u.ac.jp/ja
農学研究科	6月	11月	—	—	www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/
人間・環境学研究科	5月・11月	—	—	—	www.h.kyoto-u.ac.jp/
エネルギー科学研究科	4月	10月	—	—	www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp
情報学研究科	5月・10-11月*6	11月	5月・10-11月	11月	www.i.kyoto-u.ac.jp/
生命科学研究科	4月	—	—	—	www.lif.kyoto-u.ac.jp/j/
地球環境学舎	4月・10月*7	3月・9月	4月*7	*73月・9月	www2.ges.kyoto-u.ac.jp/

*1 5月に配布予定の学生募集要項は夏期入学試験のためのものです。全ての専攻の冬期入学試験のための学生募集要項は10月に配布予定です。

*2 日程はプログラムにより異なります。詳細は事務室へ問い合わせてください。

~~*3 数学・数理解析専攻数学系のみ。~~

*4 各学生募集要項は4月・10月入学共通です。

*5 ホームページへの掲載のみ (Web出願)。

*6 一次(夏期)入学試験に加えて二次(冬期)入学試験を実施する場合は、先端数理科学専攻は10月に、その他の専攻は11月に該当選抜の募集要項を配布する予定です。

*7 第2回以降の募集、もしくは該当選抜の募集を行うときのみ募集要項を配布する予定です。学舎のウェブサイトで最新情報を確認してください。

博士後期課程 (2018年12月現在)

研究科等	募集要項配布時期				Website
	4月入学		10月入学		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
文学研究科	10月	—	—	—	www.bun.kyoto-u.ac.jp/
教育学研究科	6月	6月	—	—	www.educ.kyoto-u.ac.jp/
法学研究科 (法政理論専攻)	11月	7月	—	—	law.kyoto-u.ac.jp/
経済学研究科	10月	—	—	2月	www.econ.kyoto-u.ac.jp/
理学研究科	12月	—	5月	—	www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/
医学研究科 (医科学専攻)	11月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 (社会健康医学系専攻)	7月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 (人間健康科学系専攻)	6月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学研究科	9月	9月	6月	6月	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
工学研究科	5月・11月* ¹	—	5月* ¹	11月* ^{1, 2}	www.t.kyoto-u.ac.jp/ja
農学研究科	11月	11月	—	—	www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/
人間・環境学研究科	11月	—	—	—	www.h.kyoto-u.ac.jp/
エネルギー科学研究科	4月・10月	4月・10月	4月	4月	www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp
情報学研究科	5月・11月* ³	5月・11月* ³	5月・11月* ³	5月・11月* ³	www.i.kyoto-u.ac.jp/
生命科学研究科	12月	—	—	—	www.lif.kyoto-u.ac.jp/
地球環境学舎	4月・10月* ⁴	3月・9月	4月* ⁴	* ⁴ 3月・9月	www2.ges.kyoto-u.ac.jp/
経営管理教育部 (経営管理大学院)	6月	—	—	—	www.gsm.kyoto-u.ac.jp/ja/* ⁵

*¹ ホームページへの掲載のみ (Web出願)。

*² 詳細は事務室へ問い合わせてください。

*³ 二次 (冬期) 募集を実施する場合は、11月に該当選抜の募集要項を配布する予定です。

*⁴ 第2回以降の募集、もしくは該当選抜の募集を行うときのみ募集要項を配布する予定です。学舎のウェブサイトにて最新情報を確認してください。

*⁵ 日本語コースのみです。必要な日本語能力については募集要項を参照してください。

博士課程 (2018年12月現在)

研究科等	募集要項配布時期					Website
	4月入学			10月入学		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	第3年次編入学	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
医学研究科 (4年制医学専攻及びゲノム医学国際連携専攻)	8月	—	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
薬学専攻 (4年制薬学専攻)	6月	—	—	6月	—	www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
アジア・アフリカ地域研究科 (一貫制博士課程)	4月* ¹	—	10月	—	* ²	www.asafas.kyoto-u.ac.jp/
総合生存学館 (思修館) 博士課程 (5年一貫制)	4月	—	—	—	—	www.gsais.kyoto-u.ac.jp/

*¹ 東南アジア地域研究専攻およびアフリカ地域研究専攻の第2回 (冬期) 入試学生募集要項を含みます。

*² 第3年次編入学を希望する国費留学生のみが対象です。事務室へ問い合わせてください。

専門職学位課程 (2018年12月現在)

研究科等	募集要項配布時期				Website
	4月入学		10月入学		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	外国人留学生特別選抜	
法科大学院	5月	—	—	—	lawschool.law.kyoto-u.ac.jp/
医学研究科 (社会健康医学系専攻)	5月	—	—	—	www.med.kyoto-u.ac.jp/
公共政策教育部 (公共政策大学院)	7月	7月	—	—	www.sg.kyoto-u.ac.jp/jp/index.html
経営管理教育部 (経営管理大学院)	6月	—	—	—	www.gsm.kyoto-u.ac.jp/ja/* ¹

*¹ 日本語コースのみです。必要な日本語能力については募集要項を参照してください。英語コースについては、11ページ及び16ページを参照してください。

English-Taught Degree Programs

Kyoto University offers a range of programs for international students that are taught and assessed entirely in English. Admission and support services are also provided in English, making the university's world-class facilities and teaching available to students with no Japanese language ability.

For details of a specific program, please visit the relevant program website.

Applicants who graduated from universities overseas, and who intended to apply for the status of research student, master's degree student, doctoral degree student, or professional degree student are advised to begin the AAO (Admission Assistance Office) application procedure prior to beginning the graduate admissions process. Further information, please refer to the following link:

- ☑ **Kyoto University “Those who graduated from universities overseas”:**
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aa.html>

Faculty/ Graduate School	No.	Program	Degree	Enrollment	Student Intake	Application Guidelines Available (see ^{*1})	Place of Entrance Exam
Economics	1	International Graduate Programme for East Asia Sustainable Economic Development Studies	Master	Oct.	14	Sep.	see ^{*2}
			Doctor		8	Feb.	
Engineering	2	Undergraduate International Course Program of Civil Engineering	Bachelor	Apr.	30	Jan.	see ^{*2}
	3	International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering	Master		12		Kyoto University
	4	International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management	Master		20		
	5	Integrated Engineering Course in the Human Security Engineering Field	Master				Apr. Oct.
Agriculture	6	Special Course in Agricultural Sciences — For the Global Future of Life, Food and the Environment	Master	Apr. Oct.	5	Jun.: Apr. enrollment	see ^{*2}
			Doctor		5	Dec.: Oct. enrollment	
Energy Science	7	International Energy Science Course	Master	Oct.	10	Mar.	see ^{*2}
			Doctor	Apr. Oct.	10	Mar.	
Informatics	8	International Course in Intelligence Science and Technology	Master	Apr. Oct.	Small number	May. Nov. Feb.: Oct. enrollment in Social Informatics	Kyoto University
			Doctor		Small number		
	9	International Course in Social Informatics	Master	Apr. Oct.	Small number		see ^{*2}
			Doctor		Small number		
	10	International Course in Communications and Computer Engineering	Master	Apr. Oct.	Small number		Kyoto University
			Doctor		Small number		
Medicine	11	Global Frontier in Life Science	Master	Apr.	Small number	May	Kyoto University
		Global Frontier in Life Science (Medicine: 4-year Doctor)	Doctor		Small number	Aug.	
		Global Frontier in Life Science (Medical Science)	Doctor		Small number	Nov.	
Biostudies		Global Frontier in Life Science	Master	Apr. Oct.	10	Dec.	see ^{*2}
			Doctor		10		
Global Environmental Studies	12	International Environmental Management Program	Master	Apr. Oct.	Small number	Twice a year	see ^{*2}
			Doctor		Small number		
Science (Primate Research Institute)	13	International Course for Primatology and Wildlife Research	Master	Apr. Oct.	5	Aug.	Kyoto University
			Doctor		5		see ^{*2}
Management	14	International Project Management Program (i-PM)	MBA	Apr.	10	May	see ^{*3}
	15	International Business Administration Program (i-BA)	MBA	Apr.	10	May	see ^{*3}
	16	Kyoto-Cornell International Collaborative Degree Opportunity	MBA/MMH	Apr.	20	TBA	see ^{*3}

Note ^{*1} The schedule is subject to change.

^{*2} Applicants can take the entrance examinations at Kyoto University or place where they are.

Applicants are advised to check the website or to contact the administration office for more information.

^{*3} Applicants are selected by means of a comprehensive evaluation of application documents.

01 International Graduate Programme for East Asia Sustainable Economic Development Studies

Enrollment: October

Enrollment Limit: Master: 14, Doctor: 8 (including 2 Japanese students respectively)

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/kuac/>

Programme Description:

There are a number of challenges that East Asia must address if it is to maintain its economic role as one of the leaders of the world. These include challenges relating to environmental stability, food and energy supplies, uneven development between agricultural and industrial sectors, widening income disparities and aging populations, and accountability of government and business sectors.

This programme is designed to provide international students with both advanced academic knowledge and practical skills. Our academic year begins in October. Students are from a variety of countries including China, South Korea, Indonesia, Thailand, Malaysia, Philippines, Viet Nam, Uzbekistan, France, Germany, Italy, Turkey, Egypt, UK, Belgium, Spain, USA, Mexico and Japan. The programme is offered in English, and Japanese language skills are not required at the time of admission. The Master's programme offers both basic and advanced courses through which students can enjoy a comprehensive curriculum.

The Doctoral programme offers Overseas Field Research and International Graduate Student Workshop subjects through which students further develop a deep understanding of the current issues in East Asia.

In addition to classes designed specifically for this programme, students will participate in selected courses at the Graduate School of Economics as well as other graduate schools. Students will develop academic knowledge and practical skills in international setting. We offer many opportunities to conduct field research at diverse sites such as large manufacturing plants and small factories, cutting-edge businesses and rural farming communities throughout East Asia so that students can develop a multidisciplinary and critical sense of reality. These are all needed to contribute to sustainable development in East Asia as academic researchers, government officials, or social entrepreneurs.

02 Undergraduate International Course Program of Civil Engineering

Enrollment: April

Enrollment Limit: 30

Degree: Bachelor's Degree

Website: <http://www.s-ge.t.kyoto-u.ac.jp/int/en/>

E-mail: icp_ug@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This four-year international course in English leads to a Bachelor of Engineering degree from the Undergraduate School of Global Engineering. The course aims to cultivate human resources capable of designing and managing civil infrastructures while considering global environmental issues around urban and regional areas, particularly in Asia and African countries.

In the first and second years, students are required to take lectures in fundamental mathematics, physics and liberal arts. Scientific English and basic Japanese lectures are also available. From the second year, specialized civil engineering lectures are given, including those on environmental engineering and earth resources, and energy science. For the first three years, all lectures are given at Yoshida Campus. In the fourth (final) year, students with sufficient credits may join a research group and relocate to Katsura or Uji Campus. Each student will undertake research for their bachelor thesis at their designated laboratory. The thesis is presented and examined in February of the final year, in order to graduate in March. Related courses: master's courses in the Management of Civil Infrastructure, and Urban and Regional Development in addition to a doctoral course in Human Security Engineering.

03 International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering

Enrollment: April

Enrollment Limit: 12 (combined capacity with the International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management)

Degree: Master's Degree

Website: <http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/mci/en/>

E-mail: icp_master@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a two-year program leading to a Master of Engineering degree. This course aims to cultivate human resources capable of managing civil infrastructures and addressing environmental issues. Several issues are in focus, such as; achieving a stable supply of natural resources and harmonize human activities with the global environment; the development of fundamental key technologies that support public infrastructure and energy development; the creation and development of new versatile technologies and design methods concerning the construction, improvement, operation, and maintenance of public infrastructure and disaster mitigation measures, as well as technologies related to the exploration, development, and utilization of the natural environment, natural resources and energy. Such issues are approached by the framework of applied mechanics and computational mechanics with the integration of theoretical and experimental works.

04 International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management

Enrollment: April

Enrollment Limit: 12 (combined capacity with the International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering)

Degree: Master's Degree

Website: <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/urd/en/>

E-mail: icp_master@t.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a two-year program leading to a Master of Engineering degree. The department aims to make advances in social analysis technology utilizing urban engineering, traffic engineering, and environmental system engineering to analyze human activities in cities. Research is conducted in urban planning and traffic planning to realize safe and sustainable urban systems. Advances in urban infrastructure relating to building foundations and rivers are examined. The department is working to establish methodologies and engineering techniques for the comprehensive management of urban systems, incorporating assessments of the sustainability of cities based on cutting-edge research and an interdisciplinary perspective that embraces the social sciences and humanities. Advanced information communication technology is integrated with social infrastructure technology in order to realize sustainable, safe, and internationally competitive urban systems that can ensure a high quality of life. Lectures and seminar-based subjects are designed for students to independently plan, implement, summarize and present research results from project surveys and company seminars.

05 Integrated Engineering Course, Human Security Engineering Field

Enrollment: April/October

Enrollment Limit: Master: 20, Doctor: 20

Degree: Master's and Doctoral Degree

Website: <http://hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp/>

E-mail: contact@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This is a master and doctoral program with a solid interdisciplinary education in the core fields and the four related fields: urban governance, urban infrastructure management, health risk management, and disaster risk management. Studies on these related topics will foster researchers and engineers who have the ability to integrate and apply their knowledge toward ensuring urban human security, while contributing to advances. We aim to instill the following qualities in our academics: creativity (to go beyond the boundaries of the existing specialized fields); internationality (the ability to present and debate research in English, perform education and research activities overseas, and build an international human network); and independence (the ability to plan research, lead education and research, secure research funds, and solve problems in the field). The availability of core content in English and overseas internships for training in the field help students achieve these program objectives. Students who proceed to the Integrated Course in Human Security Engineering must complete the completion requirements of that course, rather than those of the department in which they are enrolled. Upon completion of the course, they will be certified as a graduate of the Human Security Engineering Education Program and receive a program certificate in addition to their degree certificate.

06 Special Course in Agricultural Sciences — For the Global Future of Life, Food and the Environment

Enrollment: April/October

Enrollment Limit: Master: 5, Doctor: 5

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/english/global30/>

E-mail: agrig30@adm.kais.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course aims to develop the next generation of human resources with advanced research abilities, profound knowledge and an international perspective in the fields of life, food and the environment. Master's and doctoral students in this course can study a diverse range of agricultural, life and environmental sciences: Agronomy and Horticultural Science, Forest and Biomaterials Science, Applied Life Sciences, Applied Biosciences, Environmental Science and Technology, Natural Resource Economics, and Food Science and Biotechnology. We will examine the social effects of agriculture, such as the results of adopting various farming approaches. Each student will benefit by having several supervisors for their research guidance. The curriculum offers courses in the fields of natural and environmental sciences, geography, economics and information systems. Lectures are given by international teaching staff. Seminars and experimental courses are given by the course supervisors.

07 International Energy Science Course

Enrollment: Master's-October, Doctoral-October/April

Enrollment Limit: Master: 10, Doctor: 10

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/en/>

E-mail: intl@energy.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Energy Science Course (IESC) Master's Program teaches students about energy systems from a broad, crossdisciplinary perspective, along with in-depth understanding of their own major. Teaching in each major takes place within the three departments of the Graduate School of Energy Science. All students must complete course work and research equating to 30 credits, and successfully defend their Master's thesis (15 thesis credits). The IESC doctoral program provides the international students and researchers who have a Master's degree (or equivalent) an opportunity to further their studies toward a doctoral degree at Kyoto University.

Major available within the course will fall broadly within one of four departments: Socio-Environmental Energy Science (SES), Fundamental Energy Science (FES), Energy Conversion Science (ECS), and Department of Energy Science and Technology (EST) ^{*1}. SES leads the research on the effective use of energy and resources and analysis of energy systems in order to build a sustainable social system within the global environment, while FES offers graduate students fundamental science education and conduct research to contribute to cleaner energy solutions. ECS conducts research and education in generation, conversion, control and utilization of various kinds of energy in focus on efficient and clean energy. EST conducts education and research on the development of more efficient utilization of direct and indirect energy supplies based on disciplines such as resources, metallurgical, mechanical and electrical engineering.

^{*1} IESC of EST is available only for DOCTORAL programs.

08 International Course in Intelligence Science and Technology

Enrollment: April/October

Enrollment Limit: a small number of students

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.g30.i.kyoto-u.ac.jp/en>

E-mail: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course focuses on clarifying the mechanisms of information processing and applying that expertise to the development of versatile high-level applications. We study not only how computer systems achieve and transcend human cognitive ability in vision, auditory, language understanding, but also the psychology, brain science, and biological information. The curriculum offers a wide range of topics covering mathematics and information science, including discrete algorithm, intelligent algorithm, statistics, machine learning, pattern recognition, cognitive science, biological information, etc. These theories are explored as students investigate how technologies are applied to an application-oriented research project. In our department, we work with algorithmic principles; make use of state-of-the-art technologies; and inspire students to take their knowledge and imagination into new studies.

09 International Course in Social Information

Enrollment: April/October

Enrollment Limit: a small number of students

Degree: Master's Degree, Doctoral Degree

Website: <http://www.g30.i.kyoto-u.ac.jp/en>

E-mail: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

This course assumes that the information is the most important concept in society and that its proper management helps to answer societal needs and problems, which, nowadays, are subject to rapid changes as technological advances are made. Our department provides opportunities to study ICT technologies and social information systems in the areas of information management, multi-agent systems and system dynamics. In the area of information management the following content will be explored: databases, information retrieval, web information management, distributed information systems, information organization and retrieval, information systems design for object-oriented design/analysis and programming, database design, user interface design, web information systems design, and information systems analysis including data mining. In the area of multi-agent systems, students delve into business processes and services computing. In the area of content, students learn system dynamics, environmental issues, GIS, field research and statistics. Biosphere informatics and information system analysis will be also taught. In the area of social informatics, topics will include information security, information economy, digital rights, digital ethics and IT policy and agenda.

10 International Course in Communications and Computer Engineering

Enrollment: April/October
Enrollment Limit: a small number of students
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.g30.i.kyoto-u.ac.jp/en>
E-mail: jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The focus of this course lies in the theoretical aspects of modern information technologies, principally, the design and analysis of algorithms, computational complexity, and discrete mathematics related to computer science.

Two introductory graduate classes are provided, neither of which is designed solely for international students. *Introduction to Algorithms and Informatics* is an introductory class for non-specialists. Lectures cover various aspects of modern computer science, particularly the fundamentals of algorithm design and analysis, data structures, and important concepts such as linear programming, randomization, heuristics and approximation. *Theory of Computational Complexity* is an introduction to the field of computational complexity, which aims at classifying computational problems according to their difficulty by investigating the amount of resources needed to solve them. The class covers both the foundations of computational complexity and more advanced topics such as hardness of approximation and communication complexity. For both classes no specific technical background is required. Other classes given in English are *Parallel and Distributed Systems*, *System-Level Design Methodology for SoCs*, and *Atmospheric Measurement Techniques*. Students can also take the general *Perspectives in Informatics seminars*, as well as classes in the other two international courses offered by the School of Informatics.

11 Global Frontier in Life Science

Enrollment: Graduate School of Biostudies: Master's - April/October, Doctor - April/October
Graduate School of Medicine: Master's - April, Doctor - April
Enrollment Limit: Graduate School of Biostudies: Master's - 10, Doctor - 10
Graduate School of Medicine: Master's - Small Number, Doctor - Small Number
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: Graduate School of Biostudies: <http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/e/>
Graduate School of Medicine: <http://www.med.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: Graduate School of Biostudies: 150kyomu@adm.lif.kyoto-u.ac.jp
Graduate School of Medicine: kyoumu-in@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The Graduate Schools of Biostudies and Medicine offer a joint three-year Doctoral Program. This program aims to educate worldclass scientists in the fields of life and medical sciences to contribute to the advancement of basic science and human welfare. The Graduate School of Medicine also offers a four-year Doctoral Degree of Medical Science. These two graduate schools hold independent entrance examinations (to be announced on the respective websites above), and accept up to ten applicants. Related joint Master's programs are offered by the Graduate School of Medicine and by the Graduate School of Biostudies. These programs are open to both international and domestic students, and are held entirely in English, including the entrance examinations, lectures, experiments and discussions.

12 International Environmental Management Program

Enrollment: April/October
Enrollment Limit: Master: Small Number, Doctor: Small Number
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: 160tikyukankyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Program Description:

The Graduate School of Global Environmental Studies (GSGES) has established the International Environmental Management Program to strengthen educational and research opportunities for international students. GSGES offers a Doctoral Program in Global Environmental Studies for students interested in pursuing environmental research and academic study, and Master's and Doctoral Programs in Environmental Management for students interested in applied environmental management from the local to global levels. Students who join in the International Program will be enrolled in one of these three degree programs.

GSGES features a multidisciplinary program, with faculty drawn from a variety of disciplines, including engineering, agriculture, economics, law and social sciences. It provides practical education on environmental issues through long-term internships, fieldwork and lecture- and discussion-based courses for thesis preparation.

13 International Course for Primatology and Wildlife Research

Enrollment: April/October
Enrollment Limit: Master: 5, Doctor: 5
Degree: Master's Degree, Doctoral Degree
Website: <http://www.cicasp.pri.kyoto-u.ac.jp/#>
E-mail: cicasp@ml.pri.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The Primate Research Institute (PRI) in Inuyama and the Wildlife Research Center (WRC) in Kyoto promote basic and applied research by synthesizing various approaches to enhance our understanding of all primates and other wildlife. A new international course for graduate students focusing on the study of non-human primates and other animals, with the aim of promoting their conservation, health and welfare, as well as advancing our understanding of human nature, started in April 2011. Students in this course will join either the PRI or WRC and receive courses conducted in English. The course will be managed by the Center for International Collaboration and Advanced Studies in Primatology (CICASP), which was founded in April 2009. The PRI presently has ca.40 faculty members, 50 graduate students and 20 international scholars, with international students now comprising over ca.30% of the student body. The institute is also home to ca.1200 non-human primates of 13 species. CICASP is staffed by international and Japanese faculty members and administrators who are fluent in English to facilitate student integration. In 2014, CICASP partnered with the newly created Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science (PWS) of Kyoto University. Students who enroll in CICASP and Kyoto University can apply to PWS and if successful receive additional training in the area of conservation science, public outreach and curation (e.g. at zoos, aquaria and museums), as well as financial support to conduct their research. Please contact us at the email address above for assistance in finding a suitable supervisor for the graduate course.

14 International Project Management Program

Enrollment: April
Enrollment Limit: 10
Degree: Professional Master's (MBA)
Website: <http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Project Management Program (i-PM) offers a comprehensive and thorough program that focuses on the projects of temporal cooperation between organizations (business teams) established in order to achieve a certain goal in projects. This program is to nurture international project management professionals who can combine the latest research in management and specialized business practices and who are ready to meet challenges and contribute to the diverse and harmonious development of society. Students in the program shall obtain basic core competencies in economics, management and accounting and then, those will be combined with specialized and practical subjects such as policy evaluation, contract management, development management, project finance, risk management, disaster management, international mega project management, etc. as well as business writing and negotiation. Internship placements and workshops are available. Students of all nationalities are welcome. In the class taught in English, it is possible to stimulate each other by working together. This program will become a stronghold for internationalization in higher education and will help create leaders of the next generation in the world.

15 International Business Administration Program (i-BA)

Enrollment: April
Enrollment Limit: 10
Degree: Professional Master's (MBA)
Website: <http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The International Business Administration Program (i-BA) is a program of study that leads to a general management degree while helping you develop your vision and the skills to achieve it. Students get the business knowledge and specialized skills to expand career choices. This program provides wide area of expertise such as business leadership, service & hospitality management, finance and accounting.

16 Kyoto-Cornell International Collaborative Degree Opportunity

Enrollment: April
Enrollment Limit: 20
Degree: Professional Master's Degree (MBA) (Kyoto), Master's Degree (MMH) (Cornell)
Website: <http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/en/>
E-mail: kc-cdo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Course Description:

The program offers a unique curriculum which is a combination of advanced management fundamentals and the core of service and hospitality specialized principle to nurture global professionals. Students will be awarded two Master's degrees in two years (Master of Business Administration and Master of Management in Hospitality) by attending the Kyoto University Graduate School of Management for two semesters and the Cornell SC Johnson College of Business, School of Hotel Administration for the other two semesters. This program endeavors the premier educational system that draws upon the state-of-the-art research in management and business practices to propel the students not only as a future leader in the hospitality industry but a specialist in the service sector of any organizations.

【非正規生】 研究生

研究科や研究所等で特定の専門分野について研究しようとする場合は、所定の手続き等を経て研究生になることができます。研究生として入学するためには、まず、指導を希望する教員を本学のウェブサイト等を利用して選択し、その教員と連絡を取り、受入れの内諾を得る必要があります。本学のウェブサイト等を利用して指導を希望する教員を探し、Eメール等を利用して直接連絡を取ってください。当該教員の連絡先が不明の場合は、その教員が所属する学部・研究科等事務室へ、教員名を明記したうえで連絡してください。その後、入学願書などの必要書類を取りそろえて申請することとなります。詳細は、研究を希望する研究科等へ問い合わせてください。

なお、研究生には学位等は与えられません。

- 京都大学学部・大学院等: <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/>
- 京都大学教育研究活動データベース: <https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/view/>
- 京都大学学術情報リポジトリ: <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/?locale=ja>

外国の大学を卒業し、京都大学に研究生または大学院生として入学を希望する志願者は、希望する研究科等への出願手続の前にアドミッション支援オフィス（Admission Assistance Office;AAO）での照会手続を行ってください。詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

- 京都大学「外国の大学を卒業した方へ」
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aa.html>

【非正規生】 交換留学生

京都大学交換留学プログラムの概要

京都大学は大学間学生交流協定を締結している大学（協定校）から2種類のプログラムにより交換留学生を受入れています。いずれのプログラムによっても、学生は1学期（6ヶ月）間又は2学期（12ヶ月）間、京都大学で学ぶことができます。毎年12月頃と7月頃に、各協定校に募集要項を送付します。出願は派遣元大学の事務局を通じて京都大学に提出します。学生個人による直接出願は認めません。出願締切は4月入学には前年の9月、10月入学には同じ年の2月です。

① 京都大学国際教育プログラム（Kyoto University International Education Program : KUINEP）

協定校の学部生が国際高等教育院が英語で提供する全学共通科目を中心に履修するプログラムです。下記の日本語学習科目を数えずに1学期につき6科目以上履修しなければなりません。各学部が提供する専門科目を履修することも可能です。

② 京都大学一般交換プログラム

学部もしくは大学院が提供する科目を履修する（特別聴講学生）又は科目履修をせず教員の指導の下で専門的研究のみを行う（特別研究学生）プログラムです。特別聴講学生は下記の日本語学習科目を数えずに学部生は6科目、大学院生は4科目を学期ごとに履修しなければなりません。学部・大学院が提供する科目の多くは日本語で講義されますので、日本語能力が必要なケースが多いですが、英語で講義される科目のみを受ける場合は英語能力さえあれば問題ありません。特別研究学生は他の言語により指導が可能な教員さえ居れば日本語能力は不要です。特別研究学生になることができるのは大学院生のみです。

日本語学習科目

上記①②いずれのプログラムの参加者も、京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターが提供する科目を受けて日本語を学ぶことができます。正規の全学共通科目として単位が付与されるものと正規の教育課程外にあり単位が付与されないものがあり、特別聴講学生はいずれの受講も可能ですが、特別研究学生は正規の教育課程外にあり単位が付与されないものしか受けられません。単位が付与される科目の成績は他の科目の成績と同様に成績証明書に記載されます。詳細は、P.23の「日本語教育」を参照してください。

- 京都大学「交換留学生として留学」: <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/admissions/tanki.html>
- 京都大学「大学間学生交流協定校」: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/agreement/ryuga_c.html

【非正規生】奨学金付き夏期研究プログラム（理系学部生対象）

京都大学アムジェン・スカラーズ・プログラム

2015年から開始した奨学金付ショートサマープログラムです。日本を含む世界中の学部生を対象としており、学術研究に携わる日本有数の科学者をはじめとした京都大学の教員の指導のもとで研究を行います。

詳細は、毎年更新されますので、下記のプログラムウェブサイトで最新情報をご確認ください。

◆ プログラム概要

- 配属された研究室での研究活動
- 研究内容についてのポスター発表
- 他の参加学生との交流（セミナーや日本文化体験教室）
- プログラム参加学生との合同シンポジウム

◆ 支援内容

プログラム参加のための旅費、宿泊費、および奨学金

◆ 参加人数

15名

◆ 実施期間

8週間（2019年は6月11日～8月4日）

◆ 応募時期

例年11月からオンライン申請開始

◆ 応募資格概要（次の要件をすべて満たす学生）

- 学士号（またはそれと同等の学位）を取得できる世界各国の大学に所属する学部学生である
- サマープログラム開始までに学部1年生を終了している
- サマープログラム開始までに学士課程を修了しておらず、またサマープログラム終了後に引き続き学士課程を1セメスターもしくは1クォーター履修する予定である
- 成績優秀である
- 次のいずれかの英語能力要件を満たしている
TOEFL (iBT) 72以上、IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.5以上、Cambridge English FCE以上、
TOEIC1095以上、TOEIC L&R 785以上、またはTOEIC S&W 310以上
- 博士課程進学に興味がある

◆ 詳細および応募

■ 京都大学「Amgen Scholars Program」（英語のみ）

<http://www.opir.kyoto-u.ac.jp/study/en/curriculum/amgenscholars/>



◆ アムジェン・スカラーズ・プログラムとは

アムジェン・スカラーズ・プログラムはアムジェン財団による支援を受け、世界を代表する17教育・研究機関において実施されています。幅広い科学分野の最先端の研究に携わる機会を通じて、次世代のイノベーターを育成することを目指しています。

■ Amgen Scholars（英語のみ）

<http://www.amgenscholars.com/>



【非正規生】短期交流学生

アムジェン・スカラーズ・プログラムに加え、学部・研究科等の中にはサマープログラムやインターンシップなどの短期特別プログラムを実施し、短期交流学生を受け入れている部局があります（主に大学間学生交流協定校に在籍している学生が対象になります）。

■ 京都大学「教育の国際化推進事業」

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/other/course_01

■ 京都大学「Short-Term International Students」（英語のみ）

<https://u.kyoto-u.jp/short>

■ 京都大学「大学間学生交流協定校」

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/agreement/ryuga_c.html

日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学するためには

2018年5月1日現在、京都大学で学ぶ留学生2,474名のうち、572名が日本政府（文部科学省）奨学金を受給しています。この章では、日本政府（文部科学省）奨学金について簡単に紹介します。奨学金についての詳細は、下記の日本学生支援機構や外務省による「日本留学総合情報ガイド」等のウェブサイト参照してください。

- **日本学生支援機構（JASSO）**
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html
- **外務省による「日本留学総合情報ガイド」**
http://www.studyjapan.go.jp/jp/index.html

奨学金等（2019年4月現在）

- 検定料・入学金・授業料：免除
- 旅費：往復航空券支給
- 奨学金：文部科学省の予算状況に応じ、金額は変更となる場合があります。

区分	奨学金（月額）*1	応募方法		渡日時期	
		大学推薦	大使館推薦	4月	10月
学部生*2	117,000円	△*3	○	○	×
日本語・日本文化研修留学生		○	○	×	○
研究生（学位取得を目的としない）	143,000円	○	○	△*4	○
修士学生 専門職学生	144,000円	○	○	△*4	○
博士学生	145,000円	○	○	△*4	○

*1 特定の地域において修学・研究する場合は、月額2,000円又は3,000円が加算されます。

*2 京都大学では、薬学部(6年制コース)および医学部においては、国費外国人留学生(学部留学生)の受入れは行なっていません。

*3 工学部地球工学科国際コースのみで受入れを行なっています。渡日時期は4月です。

*4 大学推薦（研究留学生）による採用者の渡日時期は10月のみです。大使館推薦による採用者は、4月又は10月に渡日することができます。

応募方法

入学前に応募できる日本政府（文部科学省）奨学金の応募方法には、日本の大学を通じて応募する大学推薦と、大使館を通じて応募する大使館推薦の2種類があります。本学の日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、ほとんどが「大使館推薦」による採用です。

1) 大学推薦

大学推薦では、研究生、修士学生、専門職学生、博士学生候補者を、京都大学で選考のうえ、文部科学省に推薦します。大学推薦による応募希望者は、指導を希望する本学の教員を探し、当該教員と相談してください。

渡日前	12月～2月	奨学金応募	
			各研究科等による選考
	3月	大学による選考	
	4月	文部科学省による選考	
	6月	採用通知	
	7～9月	入国手続	
在日中	10月上旬	渡日	
		研究生（非正規生）	修士、専門職課程または博士課程開始 * 入学前に入学試験を受験し合格する必要があります
		• 入学試験準備 • 専門分野の研究	
		入学試験	
	修士、専門職課程または博士課程開始		
帰国			

2) 大使館推薦

日本国大使館（又は総領事館）を通じて募集および第一次選考が行われるものを「大使館推薦」といいます。詳細は、あなたの国の最寄りの在外日本公館に問い合わせてください。

なお、中国では、中国教育部を通じて募集および第一次選考が行われます。応募条件、時期や手続等は大使館推薦のものとは異なります。中国教育部推薦による採用者は、通常、渡日時期が10月です。詳細は中国の在籍する大学または国家留学基金管理委員会へお問い合わせください。

日本国外務省「在外公館リスト」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

渡日前	3月	奨学金応募	
	5~8月	大使館による第一次選考	
		入学希望大学へ受入依頼 ^{*1}	
	10月	文部科学省による第二次選考	
	2月（~7月） ^{*2}	採用通知	
3月（9月） ^{*2}	入国手続		
在日中	4月上旬（9月上旬） ^{*2}	研究生（非正規生）	* 入学前に入学試験を受験し合格する必要があります
		<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育 入学試験準備 専門分野の研究 	
		入学試験	
		学士、修士、専門職課程または博士課程開始	
帰国			

^{*1} 第1次選考の合格者で、本学の教員から「大学受入内諾書」の発行を希望する場合は、まず本学のウェブサイト等を利用して、あなたが指導を希望する教員を探し、下記の書類を揃え、Eメール等を利用して直接連絡を取ってください。なお、当該教員の連絡先が不明の場合は、その教員が所属する学部・研究科等事務室へ、教員名を明記したうえで連絡してください。

必要書類（書類は返却されません）：

- 第1次選考合格証明書（原紙）
- 大学受入内諾書（所定用紙）
- 大使館へ提出した書類の写し
- その他追加書類（指導教員や事務室が必要とする場合）

京都大学学部・大学院等

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/>

京都大学教育研究活動データベース

<http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/view/>

京都大学学術情報リポジトリ

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/?locale=ja>

^{*2}（）は修士学生、専門職学生、博士学生、および研究生が9月下旬に渡日する場合。

授業料・授業料免除

授業料等 (2019年4月現在)

授業料、その他の費用は、入学時・在学中に改定されることがあります。

区分	検定料	入学科	授業料
学 部	17,000円	282,000円	年額535,800円
大 学 院	30,000円 ^{*1}	282,000円	年額535,800円
法科大学院	30,000円	282,000円	年額804,000円
研 究 生	9,800円	84,600円	月額29,700円

^{*1} 出願書類等による選抜を行なう場合は、10,000円になります。詳細は、入学を希望する研究科等の募集要項をご確認ください。

納入時期

- 検定料：入学願書等提出時に納入する。
- 入学科：入学手続き時に納入する。
- 授業料：原則として5月、11月の2回に分けて納入する。

授業料免除

学部および大学院正規生で、経済的に困難な状況にあり、学業成績が優秀な学生に対しては、授業料の全額または半額を免除する制度等があります。出願手続きについては、教育推進・学生支援部学生課奨学掛および所属学部・研究科等の掲示板およびウェブサイトにてお知らせしますので、希望者は定期的に確認してください。ただし、免除できる人数に限りがあります。そのため、留学前に十分な費用を工面してから、渡日するようにしてください。

奨学金制度

外国人留学生を対象とした奨学金には、日本政府（文部科学省）奨学金に加え、以下のものがあります。ただし、競争率が高く、一部の奨学金を除き、奨学金への応募は入学後になりますので、留学前に十分な資金準備が必要です。奨学金に関する情報は、以下の日本学生支援機構（JASSO）ウェブサイトから「留学生支援」→「日本への留学」→「日本留学奨学金」→「日本留学奨学金パンフレット」を参照してください。 <http://www.jasso.go.jp>

外国政府による奨学金

京都大学では、各国政府による奨学金を受給している留学生も受入れています。応募時期や奨学金内容等の詳細は、あなたの国の当該所轄庁へ問い合わせてください。

留学生受入れ促進プログラム（旧文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）

日本学生支援機構（JASSO）が、日本国の大学に在籍する私費外国人留学生を対象に実施する奨学金です。2018年4月現在、学部留学生と大学院留学生に月額48,000円が支給されています。学習奨励費への応募は、通常入学後に大学を通じて行なうことができます。

海外留学支援制度（協定受入）奨学金

日本学生支援機構（JASSO）が、学生交流協定等に基づいて海外から日本へ留学する交換留学生を対象として支援する奨学金制度です。日本滞在中、月額80,000円の奨学金が支給されます。

奨学金の申請は、交換留学プログラムの応募書類を、在籍大学を通じて京都大学に提出する際に行います。交換留学生が直接、京都大学やJASSOに申請することはできません。

民間団体の奨学金

民間団体の奨学金には、所属大学を通じて応募するものと、奨学団体へ直接個人応募するものがあります。本学では、毎年、留学生のための約60の各種民間奨学団体へ、学内選考により選ばれた候補者を推薦しています。1団体あたり1～2名程度の採用のため競争率が高いです。月額30,000円～180,000円程度。これらの奨学金応募は、通常、入学後になります（一部、既に合格が決定した入学予定者を募集対象に含む場合があります）。在籍中の学生は、所属学部・研究科等事務室の掲示板等のお知らせを定期的に確認して申請してください。奨学金の多くは日本語能力を必要とします。

奨学金については「私費留学生対象奨学金一覧」（25-26ページ）及び財団のウェブサイトを確認してください。その他日本学生支援機構（JASSO）等のウェブサイト（<http://www.jasso.go.jp>）からも情報を収集できます。

生活費

生活費は、住宅費や食費にいくら費やすかによって変わりますが、日本学生支援機構（JASSO）の「Student Guide to Japan 2018-2019」によれば、近畿地方で生活する留学生の生活費は、月額平均で81,000円（授業料は除く）となっています。

日本学生支援機構（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/sgtj.html#browse

住まい

京都大学では、留学生と外国人研究者の宿泊施設として京都大学国際交流会館を設置していますが、会館の収容戸数や入居期間が限られています。本学の留学生は、この他に本学の一般学生寮（日本人学生と一緒に入居）や公共団体設置の宿舎を利用することができますが、留学生の大半は民間アパート等に入居しています。

京都大学国際交流会館

本学には、留学生と外国人研究者のための宿舎として国際交流会館（2019年4月現在、修学院本館、吉田国際交流会館、宇治分館、おうばく分館、みささぎ分館の5館があります。2019年10月に2つの分館が加わる予定です。）入居時期は4月と10月の年2回です。来日して1年未満に大学へ入学する留学生を対象に募集します。募集は入居時期の3ヶ月前（1月と7月）です。入居期間は、最低1ヶ月以上、最長1年以内です。入居期間の延長は認められません。

申し込みについては、あらかじめ受入教員もしくは所属する学部・研究科等事務室に問い合わせてください。

● 料金

料金は各会館や部屋の種類により異なります。詳細については下記ウェブサイトを参照してください。

（例 おうばく分館の場合）

水道料金、寝具使用料、インターネット回線設備料を含む。

- ・ 単身用：月額11,900円
- ・ 夫婦用：月額19,200円
- ・ 家族用：月額24,300円～

京都大学国際交流会館

<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/kuih/ja>

民間の住居

アパートを探す場合は、日本へ到着後に京都大学生生活協同組合や不動産業者へ行き、住みたい物件を探します。不動産業者の中には、外国語対応可能で、来日前から相談のしてくれるところもあります。

● 家賃

居住地域や部屋の大きさによって料金が異なります。京都市内で借りる場合の一般的な料金は次のとおりです。通常、部屋に家具はついていません。

- ・ 単身用（台所、トイレ等共同）：月額25,000円～30,000円
- ・ 単身用（台所・トイレ・風呂付）：月額45,000円～

アパートを借りるときは、通常、部屋代に加えて、礼金（権利金）、敷金（保証金）、仲介手数料等、家賃の数ヶ月分程度のお金と連帯保証人が必要になります。

● 部屋探しに役立つウェブサイト

京都大学国際交流サービスオフィス

https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/basic_knowledge/ja

住まいについての基礎知識・外国人のための住宅賃貸借保証人

https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/basic_knowledge/ja

不動産業者・物件検索サイトを利用する

<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/info/ja>

民間提携宿舎を利用する

<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/housing/private/ja>

京都大学生生活協同組合(HP上のGoogle翻訳を利用し各種外国語に対応)

<http://www.s-coop.net/service/life/looking/>

全国宅地建物取引業協会連合会「部屋を借りる人のためのガイドブック」

<https://www.zentaku.or.jp/useful/guidebook/>

留学生支援

日本語教育

留学生は日常生活をおくるうえで、ある程度の日本語能力を必要とされます。京都大学国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターでは、全学共通科目・日本語科目（以下、[1]）と課外の日本語学習支援講座（以下、[2]）を提供しています。[1]の対象者は、本学の正規課程の留学生、日本政府（文部科学省）奨学金留学生、交換留学生のうちの特別聴講学生、日韓共同理工系学部留学生、日本語科目の聴講が認められた研究生とKyoto-iUPプログラム生です。

京都大学のすべての留学生が受講できる[2]は入門レベルからビジネス日本語コースを含む上級レベルまでを開講しています。

前期（春期）は4月から8月、後期（秋期）は10月から2月まで授業が行われます。履修登録は、年2回、3月と9月の中旬頃に行います。日本語科目を履修（受講）するためには、国際高等教育院ウェブサイトの日本語教育についてのページ（下記URL）にて、必要な手続きを行ってください。同ウェブサイトでは、シラバスも確認できます。

京都大学国際高等教育院「日本語教育についてのページ」

www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/

京都大学では留学生別科のように、日本語クラスのみを受講することはできません。また、日本語の夏期集中クラスも開設されていません。

日本語・日本文化教育センター実施の日本語教育を、留学生の家族が受講することはできません。学外で日本語を勉強するためには、下記の京都市国際交流協会等のウェブサイトを参考にしてください。

学外の日本語教育

京都市国際交流協会：<http://www.kcif.or.jp>

京都府国際センター：<http://www.kpic.or.jp/>

チューター制度

留学生の専攻分野に関連する専攻の大学院生等が、留学生の学習・研究・日常生活に関して助言や協力をする制度です。この制度の対象者は、原則として正規生および一部の非正規生で、その指導教員がチューターによる個別の指導を必要としていると認められた者に限られます。詳細については、入学決定後に、所属の学部・研究科等事務室に問い合せてください。

学内相談窓口

京都大学には、在籍する留学生のための相談窓口がいくつかあります。どの窓口でも、プライバシーや相談内容は秘密厳守され、料金は不要です。

留学生ラウンジ「きずな」および教育推進・学生支援部棟内（旧石油化学教室本館）の留学生相談室では、生活上の問題、対人関係のトラブル、奨学金等の事務上の問題など、一人では解決できずに困っている様々な悩みや心配事を相談できます。

また、日本語での相談が可能な、全学学生のための学生総合支援センターカウンセリングルームもあります。

京都大学留学生ラウンジ「きずな」

留学生ラウンジ「きずな」は、京都大学に在籍する留学生の相互交流を促進し、留学生と日本人学生および教職員との交流のためのスペースとして、2002年春に開館しました。

館内には自主学习や言語交換等のできるサロン、日本語学習教材やDVD・洋書などを借りることのできる読書室、そして音楽や映画を楽しむことのできるオーディオルームがあります。

また、「きずな」では毎月1回イベントを開催し、学生間の交流のきっかけづくりに働きかけています。

京都大学留学生ラウンジ「きずな」

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna>

査証・在留資格・その他の情報

査証・在留資格

◆ 入学試験のための「短期滞在」査証

入学試験を受験する目的で日本へ入国する場合には、自国の在外日本国公館で、入国目的を必ず「受験のため」と申し、「短期滞在」査証（ビザ）を取得してください。この査証では収入や報酬を受けることはできません。

なお、短期滞在で日本に入国し、別の在留資格へ変更することは、やむを得ない特別な事情がないと認められません。また、原則として「在留資格認定証明書」や理由書の提出が求められますので、注意してください。

◆ 入学のための「留学」査証

● 新規入国の場合

合格者は、本学発行の入学許可書または合格通知書、パスポート、関係書類を在外日本国公館に提出し、「留学」査証（ビザ）を申請してください。

また、査証を取得するためには、事前に日本での生活費が確保できることの証明が必要とされる場合があります。

京都大学国際交流サービスオフィスでは、所属学部・研究科等事務室からの依頼を受けて、京都大学へ入学が決定した入学予定者およびその家族の在留資格認定証明書交付代理申請を行なっています。入学が決定したら、所属学部・研究科等事務室へ問い合せてください。なお、大使館推薦等の国費留学生および大学間学生交流協定に基づく交換留学生については、サービスオフィスでの在留資格認定証明書交付代理申請の取扱いはありません。

■ 京都大学国際交流サービスオフィス：<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/visa/about/ja>

● すでに日本に滞在している場合

入学手続き時の在留資格が、「留学」でない場合（「短期滞在」など）は、入学決定後に、入国管理局で「留学」資格に変更しなければなりません。

在留カード

日本に3ヶ月を超えて滞在する予定の外国人居住者には在留カードが発行されます。在留カードは、原則、新千歳、成田、羽田、中部、関西、広島および福岡空港に到着する場合は、入国審査時に上陸許可に伴い交付されます。その他の出入国港より入国する場合、居住地区の役所に日本の居住先の届出をした後、登録された住所宛へ在留カードが郵送されます。在留カードは常時携帯する義務があります。

居住地の届出（住民登録）

3ヶ月を超えて日本に滞在する外国人は、入国してから14日以内に居住地区の役所で、居住地の登録（住民登録）をする必要があります。

国民健康保険

日本に中長期（3ヶ月を超えて）滞在する外国人は、日本の公的な医療保険に加入しなければなりません。ただし、在留資格「短期滞在」もしくは「留学（在留期間3カ月）」の場合は国民健康保険に加入できないため、日本に来る前に、旅行保険等に参加することをお勧めします。

国民健康保険の加入手続きは、居住地区の市（区）役所・支所で住民登録申請の後に行います。加入すると、怪我や病気の治療を受ける際に、病院の受付窓口で国民健康保険証を提示すれば、保険診療適用内の医療費についてはその30%を支払うだけで診療を受けられます。国民健康保険料は、家族の有無などの諸条件により異なりますが、例えば、京都市在住の単身の留学生の場合は年間約18,000円の保険料を支払うことになります。

アルバイトについて

留学生は、「資格外活動許可証」を入国管理局で受けた場合にかぎりアルバイトをすることができます。以下の3点の注意点を必ず守ってください。

- ① アルバイトが学業に支障を来さないものであること。
- ② 就業時間は、「留学」の在留資格を持つ留学生は一律1週28時間以内（長期休暇中は法律で定められている週40時間の範囲内であれば1日8時間まで就労することが可能）です。
- ③ 風俗営業等、公序良俗に反する仕事には従事できません。

許可を得ないでアルバイト活動に従事した場合は、処罰の対象になります。

私費留学生対象奨学金一覧

以下の一覧表は、京都大学へ届いた奨学金の情報です。2019年3月現在の実績を元に作成されているため、変更になる可能性があります。なお、募集締切は奨学団体の締切時期となっています。学内選考のために、実際の締切日はこれより1ヶ月以上早くなります。奨学金の多くは日本語能力を必要としており、競争率が高いです。

京都大学では留学生の奨学金の応募に関して決まりがあります（例：原則として一度に2つ以上の奨学金応募、併給を認めない等）。奨学金の応募規則や詳細については、所属の学部・研究科等事務室または国際教育交流課奨学金担当に尋ねてください。

この他奨学金に関する情報は、P.21を参照してください。

大学を通じて応募する外国人留学生向奨学金 u.kyoto-u.jp/intlscholarship

JEES ... 日本国際教育支援協会 直接 ... 奨学団体へ直接応募する奨学金

* 日本語能力

▲：特に条件としない

○：コミュニケーション能力必要。財団による面接が日本語により行われる場合があります。

●：高い日本語能力が必要

E：英語で応募可能

(2019年3月現在)

No.	奨学金名等	支給対象(概略)		推薦人数	月額支給額(円)	受給期間	日本語能力*	奨学団体締切時期
		出身地域、専攻分野等	学年、年齢					
1	イオンスカラシップ	中国(香港含む)、マレーシア、タイ、台湾、インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、パングラデシュ出身。宗教学・政治学を除く全学部、分野。	30歳以下の学部 35歳以下の修士	6名	月額100,000円 および授業料	学部：最長4年 修士：最長2年	○	4月中旬
2	SGH 財団	東南アジア地域出身	26歳以下の学部3年/ 医学部5年。 34歳以下の修士1年/ 博士2年/医学博士3年。	学部：1名 修士：博士：1名	100,000	2年	○	4月中旬
3	山岡育英会	東アジア、東南アジア地域出身。 工学・農学分野。	34歳以下の 修士1年・博士2年	2~3名	100,000	2年	○	4月中旬
4	東京海上各務記念財団 ASEAN 奨学生	ASEAN 諸国出身	29歳以下の修士 34歳以下の博士	1~2名	180,000	最短修業年限	○	4月中旬
5	京信神田喜三記念育英会 外国人留学生奨学金	大学に1年以上在籍	29歳以下の 学部2年以上	1名	年額500,000	1年	▲	4月下旬
6	橋本循記念会	東アジア地域出身。 人文科学系。	学部・修士・博士	若干名	100,000	最短修業年限	○	4月下旬
7	橋谷奨学会	インドネシア出身	学部・修士・ 博士・研究生	2名	100,000	最短修業年限	○	4月下旬
8	檀山奨学財団	アジア・太平洋地域出身	29歳以下の修士1年 34歳以下の 博士1~2年	1名	120,000	最長2年	○	4月下旬
9	住友電工グループ社会貢献基金	理工系(電気系、機械系、材料系、化学系又は物理系等)	修士1年	1名	100,000	2年	○	4月下旬
10	西村留学生奨学財団	大蔵府在住。 南アジア、東南アジア、東アジア地域出身。	学部2~3年・ 修士1年・博士1年	1~2名	120,000	学部・修士：2年 博士：最長3年	○	4月下旬 10月下旬
11	Fジニールバックージング 教育振興財団	工学分野	学部3年	1名	100,000	2年	▲	4月下旬
直接	大塚敏英育英奨学財団奨学生	医学・薬学・工学(ただし医学・薬学に関連の深い分野)・ 経営学	37歳以下の 学部3年以上・ 修士・博士	—	一括200万円、 150万円、 または100万円	1年 継続可	E	4月下旬
12	国際日本文化研究交流財団	日本文化を研究テーマとする文系	博士または これに準ずる者	1名	120,000	最長3年	●	5月上旬
13	朝鮮奨学会	韓国、北朝鮮出身	29歳以下の 学部2~4年 39歳以下の 修士・博士	学部：1名 修士・博士： 3名	学部：25,000 修士：40,000 博士：70,000	学部・修士：1年 博士：最長2年	○	5月上旬
直接	ウシオ財団外国人留学生奨学生	中国出身	修士・博士	—	120,000	最短修業年限	○	5月上旬
14	味の素奨学会 AJINOMOTO SCHOLARSHIP	アジア、アフリカ、南米地域出身。 食・栄養・保健分野。	29歳以下の 修士・博士	—	150,000	最長2年	E	5月中旬
15	JEES ドコモ留学生奨学金	南アジア、東アジア、東南アジア出身 通信・情報処理技術および関連分野	修士1年	6名	120,000	2年	○	5月中旬
16	京都市国際交流協会 張鳳俊奨学金	アジア地域出身	学部2年以上・ 修士・博士	1名	50,000	1年	○	5月中旬
17	JEES 留学生奨学金 (少数受入国)	少数受入国出身者	学部・修士・博士 または交換留学生	1名	50,000	最長2年	○	5月中旬
18	JEES 日本語教育普及奨学金(日能)	日本語能力試験1級合格者。 日本語指導者養成に密接な分野(日本語学、日本文学等) を専攻。	学部・修士・博士	—	50,000	最長2年	●	5月中旬
19	JEES 日本語教育普及奨学金(検定)	日本語教育能力検定試験合格者	学部・修士・博士	—	50,000	最長2年	●	5月中旬
20	JEES 留学生奨学金(修学)	学業成績優秀者(前年度の成績評価係数2.60以上)	学部2年以上・ 修士・博士	1名	30,000	2年	○	5月中旬
21	同盟育英会 古野給与奨学金	ジャーナリズム・マスコミ関係分野	修士1年	2名	50,000	最長2年	○	5月中旬
22	三菱UFJ信託記念奨学財団	法学・経済学・理学・工学・農学・エネルギー科学・情報 学・生命科学・地球環境・法科・公共政策・経営管理の学 部・研究科所属。 東南アジア地域出身。	31歳以下の学部 38歳以下の 修士・博士	学部：1名 修士・博士： 1名	学部：70,000 修士・博士： 100,000	最短修業年限	○	5月下旬
23	文部科学省外国人留学生学習奨励費	学部・修士・博士・研究生	—	—	学部・修士・博士： 48,000円	1年	E	5月下旬
24	日揮・美吉奨学会(第三種)	理工系(医学、薬学系を除く)、 中近東、アフリカ、中央アジア圏、東南アジアおよびメ コン地域の産油・産ガス国出身	34歳以下の 修士・博士	—	150,000	1年	▲	5月下旬
25	村田海外留学奨学会	法学、経済学、工学分野	学部2年以上・ 修士・博士	5名	年額150,000	1年	○	7月上旬
26	KDDI 財団	法律・政治・経済・社会・文化・技術の分野において情報 通信関連をテーマとして専攻	35歳以下の 修士・博士	6名	100,000	6ヶ月 または1年	E	8月上旬
27	KMMF スカラシップ 松下幸之助記念財団新奨学金	「日本と諸外国との相互理解」もしくは「自然と人間との 共生」に関する研究テーマ。西アジア、中央アジア、東南 アジア、東アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国出身。	10月入学の修士	4名	月額120,000円、 入学金、授業料、 及び渡航費	最長2年	E	8月上旬
28	佐藤陽国際奨学財団奨学生	アジア地域出身(中国・韓国・台湾除く)	学部・修士・博士	—	学部：150,000 修士・博士： 180,000	最短修業年限	○	8月下旬/ 1月上旬
29	上原記念生命科学財団来日研究生助 成金	生命科学・医学・薬学分野	39歳以下の 修士・博士	1名	150,000	最長2年	▲	9月上旬

No.	奨学金名等	支給対象(概略)		推薦人数	月額支給額(円)	受給期間	日本語能力*	奨学団体締切時期
		出身地域、専攻分野等	学年、年齢					
直接	野村財団外国人留学生奨学金	人文科学、社会科学系	34歳以下の修士・博士	—	200,000	2年	○	9月下旬
直接	とうきゅう留学生奨学財団	韓国、中国、モンゴル、台湾、香港、マカオ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ミャンマー、プータン、ネパール、インド、バングラデシュ、スリランカ、モルディブ、パキスタン、アフガニスタン、ロシア、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、太平洋上諸島・諸国(フィジー、トンガ等)	修士・博士	—	180,000	最長2年	○	9月下旬
30	ロータリー米山記念奨学会	国籍の割合考慮	44歳以下の学部3年以上・修士・博士2年以上	5名	学部:100,000 修士・博士:140,000	最長2年	○	10月中旬
31	藤井国際奨学財団	アジア地域出身	25歳以下の学部30歳以下の修士35歳以下の博士	3名	50,000	最短修業年限	○	10月下旬
32	平和中島財団	学部・修士・博士		学部:1名 修士・博士:1名	100,000	1年	○	10月下旬
直接	伊藤国際外国人奨学金	修士課程入学予定者	修士1年	—	180,000	最長2年	○	10月下旬
直接	本庄国際奨学財団	日本以外の国籍	修士・博士	—	150,000 ~200,000	選択	○	10月下旬
33	綿貫国際奨学財団	アジア太平洋地域出身。国籍・男女数の割合考慮。	修士・博士	3名	150,000	1年 継続・再応募可	○	11月上旬
34	JEES・JX石油開発インドネシア留学生奨学金	インドネシア国籍を有する理学系または工学系	10月入学の修士	—	月額60,000円 および一時金 (200,000円/年)	最長2年	E	11月上旬
35	日揮・実吉奨学会(第二種)	理工系(農学を含み、医学・薬学除く)	学部・修士・博士・研究生	3名	250,000(一括振込)	1年	○	11月中旬
直接	似鳥国際奨学財団留学生奨学生	日本以外の国籍	学部・修士	—	110,000	1年	○	11月中旬
直接	丹羽宇一郎奨学金	中国出身。社会科学系(法学・政治学関係、商学・経済関係)。	修士・博士	—	70,000	1年	○	11月中旬
36	堀田育英財団	学部・修士・博士		2名	80,000	最長2年	○	11月下旬
37	JEES 豊田通商留学生奨学金	社会科学(法学・経済学)、人文科学、理学・工学専攻。国籍の割合考慮。	学部3年・修士・博士	4名	100,000	2年	○	11月下旬
38	JEES T・バナージインド留学生奨学金	インド出身。日本語能力試験3級以上。	学部・修士・博士	1名	100,000	最短修業年限	○	11月下旬
39	JEES 大成建設外国人留学生奨学金	ベトナム、インドネシア出身。工学分野(建築、土木、機械、電気のみ)	学部・修士	1名	150,000	最短修業年限	○	11月下旬
40	三菱総研アジア・リサーチフェロー・スカラーシップ	ASEAN 諸国またはインド出身。	34歳以下の修士・博士	—	100,000	最長2年	○	11月下旬
41	JEES JT グローバル奨学金	アジア地域出身。国籍の割合考慮。	34歳以下の修士・博士	2名	150,000	最長2年	○	12月上旬
42	大塚敬美育英奨学財団	国籍の割合考慮。医学・薬学・工学(ただし医学・薬学に関連の深い分野)・経営学。	38歳以下の医学・薬学・工学:博士 経営学:修士・博士	医・薬学:1名 経営学・工学:2名	年額1,000,000、 1,500,000、 または2,000,000	1年	E	12月上旬
43	エフソン国際奨学財団	工学分野	34歳以下の修士・博士	1名	100,000	最長2年	○	12月中旬
44	川崎重工業記念スカラーシップ基金	人文・社会・自然科学分野	学部3~4年、修士・博士	1名	100,000	最長2年	○	12月中旬
45	JEES 生命保険協会留学生奨学金(セイホスカラーシップ)	アジア地域出身。国籍の割合考慮。	学部3年・修士1年	2名	100,000	2年	○	12月中旬
直接	岩谷国際留学生奨学助成	東アジア・東南アジア地域出身。自然科学系。	修士・博士、博士学位取得のための継続在籍者	—	150,000	1年	○	12月中旬
46	清和国際留学生奨学会	アジア、オセアニア地域出身。国籍の割合考慮。	29歳以下の学部34歳以下の修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	学部:80,000 修士・博士:100,000	2年	○	12月下旬
47	JEES ソフトバンク AI 人材育成奨学金	人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)	修士1年	10名 (日本人含む)	80,000	1年	○	1月上旬
48	ロッテ国際奨学財団	アジア地域出身	35歳以下の学部・修士・博士	3名	180,000	2年	●	1月上旬
49	アジア国際交流奨学財団「川口静記念奨学生」	アジア地域出身	29歳以下の学部34歳以下の修士・博士	—	学部・修士:60,000 博士:70,000	1年	○	1月中旬
50	市川国際奨学財団	アジア地域出身(南アジア含む)。在籍期間が2年以上の者優先。	34歳以下の学部・修士・博士	学部:2名 修士・博士:4名	100,000	学部:1年/ 修士・博士:2年	○	8月下旬/ 1月中旬
51	安田奨学財団	法学、経済学、経営学及び商学分野	学部2年	2名	100,000	最長3年	○	1月中旬
52	共立国際交流奨学財団	アジア地域出身者。在籍期間が2年以上の者。	学部・修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	学部:60,000、 または100,000 修士・博士: 100,000	2年	○	1月下旬
53	JEES 三菱商事奨学金	国籍の割合考慮	学部3年以上・修士・博士	5名	学部:100,000 修士・博士: 150,000	最短修業年限	E	1月下旬
54	かめり財団大学院留学アジア奨学生	ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム出身。人文科学系および社会科学系分野。	4月入学の修士・博士	1名	200,000	最短修業年限	○	2月上旬
55	竜の子財団	アジア地域出身	35歳以下の学部2年以上・修士・博士	学部:1名 修士・博士:1名	100,000	2年	●	2月上旬
56	服部国際奨学財団	アジア地域出身(東南アジア優先)。日本語能力検定2級以上。	29歳以下の学部34歳以下の修士39歳以下の博士	1名	100,000	2年	●	2月中旬
57	JEES ユアサ留学生奨学金	東アジア、東南アジア地域出身	修士・博士	1名	100,000	1年	○	2月中旬
58	京都洛中ロータリークラブ洛中桐田奨学会	東南アジア地域等(中国、台湾、韓国除く。中国(モンゴル地域)、中近東地域など可)	修士・博士	1名	100,000	1年	○	2月下旬
59	JEES MHI グローバル奨学金	アジア地域出身(韓国籍優先)。機械、電気・電子などの理工系分野。	学部3~4年・修士	2名	月額80,000円 および一時金 (400,000円/年)	2年	○	3月上旬
60	加藤朝雄国際奨学財団	アジア地域出身	29歳以下の修士34歳以下の博士2~3年	2名	修士:130,000 博士:150,000	最長2年	●	3月上旬
61	百賢亞洲研究院 Asian Future Leaders Scholarship Program	アジア地域出身で、アジアの指定大学の学士学位取得者	34歳以下の修士・博士入学予定者	10名	年額25,000 USD	2年	E	3月中旬
62	帝人久村奨学財団	医学・薬学系、バイオ学系・理工学系、工学系、情報学系	修士1年・博士1年	修士・博士:各1名	修士:50,000 博士:60,000	最短修業年限	▲	修士:3月中旬/ 博士:9月下旬
63	JEES 石橋財団奨学金	美術史専攻	大学院入学予定者(研究生含む)	—	150,000	2年	▲	3月中旬/ 6月中旬
64	小林国際奨学財団(一般)	アジア地域出身	35歳以下の学部3年以上・修士・博士	学部:2名 修士・博士:1名	学部:150,000 修士・博士: 180,000	学部・修士:2年 博士:3年	○	3月下旬
65	小林国際奨学財団(特別研究奨励金)	薬学関連分野、アジア地域出身	35歳以下の学部3年以上・修士・博士	2名	200,000	最長5年	○	3月下旬
66	旭硝子奨学会	タイ、インドネシア、中国、韓国出身	修士1年・博士1~2年	指定国より各1名	100,000	最短修業年限	○	3月下旬
67	アジア開発銀行・日本奨学金プログラム	アジア地域のADB借款国出身で、2年以上の就業経験者。工学・農学・地球環境・経営管理・経済の指定コース入学者。	34歳以下の修士入学予定者	若干名	月額147,000円 および渡航費、授業料等	2年	E	指定コースによって異なる

文学研究科・文学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-2831 Mail : bun.kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
教育学研究科・教育学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3025 Mail : 020kyokyo2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
法学研究科・法学部・法科大学院	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3104 Mail : kyomu032@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
経済学研究科・経済学部	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3492 Mail : kyomu@econ.kyoto-u.ac.jp
理学研究科・理学部	606-8502 京都市左京区北白川追分町 Fax : +81-(0)75-753-3624 Mail : 050ryugaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
医学研究科・医学部	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 Fax : +81-(0)75-753-4637 Mail : kyomu-in@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
医学研究科・医学部人間健康科学科	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 Fax : +81-(0)75-753-4637 Mail : hs-kyomu@office.med.kyoto-u.ac.jp
薬学研究科・薬学部	606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 Fax : +81-(0)75-753-9276 Mail : 080yakukyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
工学研究科・工学部 福井謙一記念研究センター	615-8530 京都市西京区京都大学桂 Fax : +81-(0)75-383-2038 Mail : 090kryugakusei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
農学研究科・農学部	606-8502 京都市左京区北白川追分町 Fax : +81-(0)75-753-6005 Mail : agri-kyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (研究科) agri-kyomu1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp(学部)
人間・環境学研究科 総合人間学部	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 (研究科) Fax : +81-(0)75-753-2957 Mail : 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (学部) Fax : +81-(0)75-753-7874 Mail : 110kyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
エネルギー科学研究科	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-4745 Mail : intl@energy.kyoto-u.ac.jp
アジア・アフリカ地域研究研究科	606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Fax : +81-(0)75-753-7350 Mail : kyomu@asafas.kyoto-u.ac.jp
情報学研究科	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-5379 Mail : jyoho-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
生命科学研究科	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 Fax : +81-(0)75-753-9229 Mail : 150kyomu@adm.lif.kyoto-u.ac.jp
総合生存学館 (思修館)	606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1東一条館 Fax : +81-(0)75-762-2277 Mail : gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
地球環境学舎	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-9187 Mail : 160takyukankyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
公共政策教育部 (公共政策大学院)	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3104 Mail : kyomu033@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
経営管理教育部 (経営管理大学院)	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3529 Mail : keieikyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
化学研究所 エネルギー理工学研究所 生存圏研究所 防災研究所	611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 Fax : +81-(0)774-38-3369 Mail : uji.sien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
人文科学研究科	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-6903 Mail : zb-soumu@zinbun.kyoto-u.ac.jp

ウイルス・再生医科学研究所 東南アジア地域研究研究所 iPS細胞研究所 こころの未来研究センター アフリカ地域研究資料センター	606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53 Fax : +81-(0)75-366-7106 Mail : A50soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
基礎物理学研究所	606-8502 京都市左京区北白川追分町 Fax : +81-(0)75-753-7020 Mail : soumu@yukawa.kyoto-u.ac.jp
経済研究所	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-7193 Mail : soumu@kier.kyoto-u.ac.jp
数理解析研究所	606-8502 京都市左京区北白川追分町 Fax : +81-(0)75-753-7272 Mail : soumu@kurims.kyoto-u.ac.jp
複合原子力科学研究所	590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目 Fax : +81-(0)72-451-2600 Mail : soumu2@rri.kyoto-u.ac.jp
霊長類研究所	484-8506 愛知県犬山市官林41-2 Fax : +81-(0)568-63-0085 Mail : soumu_reichou@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
学術情報メディアセンター	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-7450 Mail : 740jyohokikaku-soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
放射線生物研究センター	606-8501 京都市左京区吉田近衛町 Fax : +81-(0)75-753-7564 Mail : 060hosei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
生態学研究センター	520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 Fax : +81-(0)77-549-8201 Mail : office@ecology.kyoto-u.ac.jp
野生動物研究センター	606-8203 京都市左京区田中関田町2-24 Fax : +81-(0)75-771-4394 Mail : office@wrc.kyoto-u.ac.jp
高等教育研究開発推進センター	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 Fax : +81-(0)75-753-2910 Mail : A30soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
総合博物館	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-3277 Mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp
フィールド科学教育研究センター	606-8502 京都市左京区北白川追分町 Fax : +81-(0)75-753-6451 Mail : joho@kais.kyoto-u.ac.jp
文化財総合研究センター	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-7699 Mail : bunkazai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
国際高等教育院	606-8501 京都市左京区吉田二本松町 Fax : +81-(0)75-753-9595 Mail : A30kyomuj@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
学生総合支援センター	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-2594 Mail : counseling@mail.gssc.kyoto-u.ac.jp
大学文書館	606-8350 京都市左京区吉田河原町15-9 Fax : +81-(0)75-753-2025 Mail : archives@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
高等研究院 (KUIAS)	606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 Fax : +81-(0)75-753-9759 Mail : info@kuias.kyoto-u.ac.jp
物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 Fax : +81-(0)75-753-9759 Mail : info@icems.kyoto-u.ac.jp
ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi)	606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 Fax : +81-(0)75-753-9759 Mail : ASHBI-info@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
入試企画課 (学部正規生一般入学試験および特色入試についてののみ)	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-2565 Mail : nyushi1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
国際教育交流課	606-8501 京都市左京区吉田本町 Fax : +81-(0)75-753-2562 Mail : studyku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

キャンパス

京都大学には「吉田」「宇治」「桂」の3つのキャンパスに加え、全国各地に附属施設があります。

1. 吉田キャンパス

創立以来、京都大学の中枢部が置かれています。創立期の煉瓦造りの建造物から最先端の研究所まであらゆる施設が混在しています。歴史と伝統を継承しつつ最先端の研究教育が展開されています。

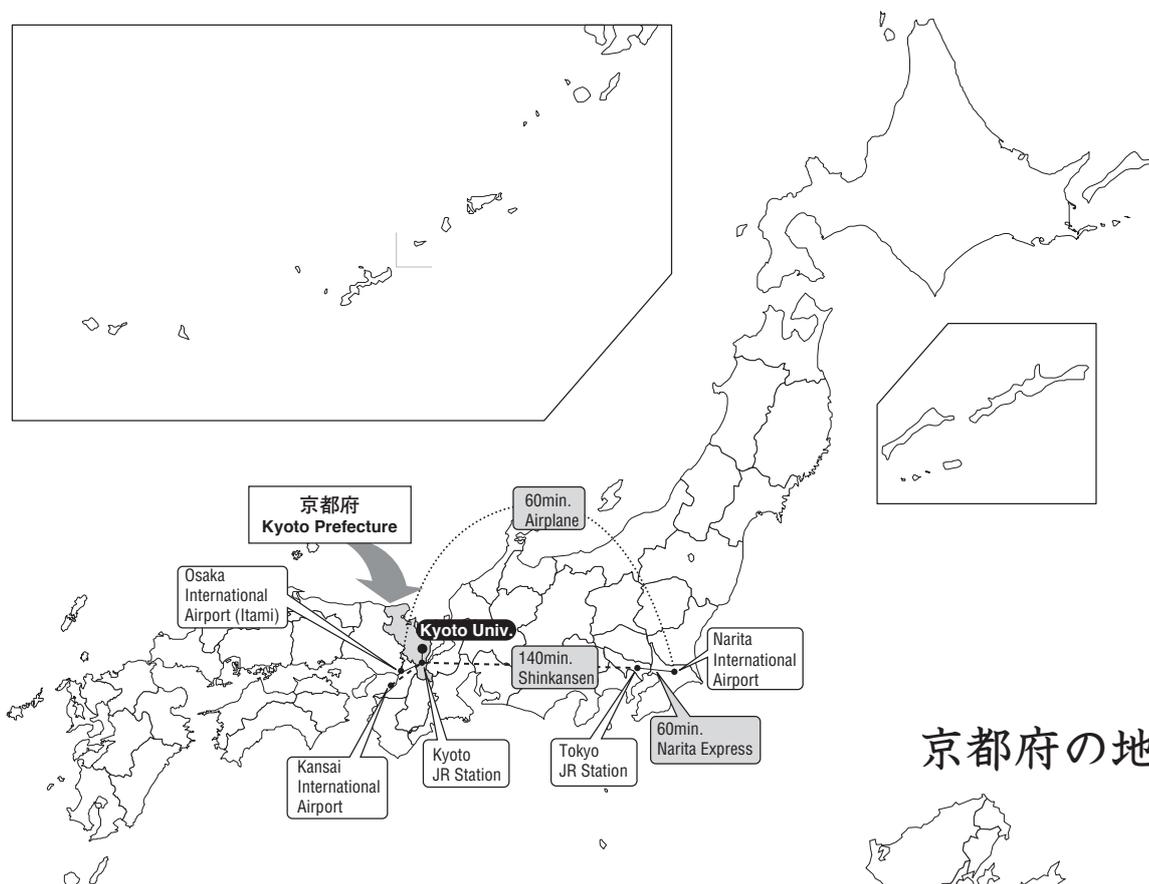
2. 宇治キャンパス

1949年に発足したキャンパスです。現在は主に自然科学・エネルギー系の研究所が置かれた、最新鋭の研究施設が集まるテクノロジー開発の最先端地域です。

3. 桂キャンパス

2003年10月に開設された3番目のキャンパスです。テクノロジーとサイエンスが融合する新しい研究教育の場“テクノサイエンスヒル”の形成を目指しています。

日本地図



京都府の地図



関西国際空港から京都駅までの交通手段は複数あります。
交通手段については、下記のウェブサイトを参照してください。

■ 京都大学
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/>

京都の魅力と生活

1200年の都。

平安建都以来1200年の歴史を奏でること・京都に息づく京都大学は、三方を山に囲まれた京都盆地の中に主要な3キャンパスが所在しています。京都で学ぶこと、そして京都を学ぶことは、日本の歴史・文化のみならず、日本という外国についての深い見識を得ることで、国際人としての素養と教養を一層磨くことができるでしょう。

大学の街、学生の街。

京都市には、およそ30の大学が集まっており、国内外から多数の学生や研究者を惹きつけています。京都市に住む10人に1人は大学生とも言われており、まさに「学生の街」と呼ぶことができるでしょう。首都・東京や関西の大都市・大阪からほどよい距離にあるこの街は、学生の活気にあふれ、治安もよく、落ち着いた環境の中で勉強や研究に没頭することができます。

17の世界文化遺産。

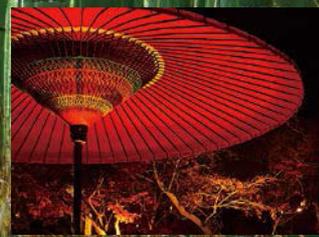
古都京都の文化財として登録されている寺院、神社、城は17ヶ所に上ります。京都に残る自然や数多くの文化財は、そこに集まる人々の内的な対話と探求を支え、新しい文化を育んできました。また京都は、世界無形文化遺産に登録された「和食：日本人の伝統的な食文化」の味わいや美しさを、今も京料理として守り続けています。京都での暮らしのなかで、美しい四季の変化、古都の文化・伝統に常に触れることができます。

伝統と革新の共存。

京都には、創業500年にわたる老舗企業が染物や焼き物といった伝統産業を受け継ぐ一方で、精密機械産業、製造産業、ゲーム産業など、最先端の技術を持つ世界規模の企業も多数存在します。日本のみならず世界から集まる多様なバックグラウンドを持つ人々が、今日もこの街のどこかで出会い、交流し、新しい知を創造しています。京都大学は、そんな京都との地域連携を通じてイノベーションを創出し、国内外に伝えることを目指します。

京都の気候は？

京都には四季があります。夏は暑くて、冬は寒いです。夏の最高温度は35度を超えたり、冬の最低温度がマイナスに達する時もあります。春や秋は過ごしやすい気候で、お花見や紅葉を楽しむ人々で賑わいます。梅雨の時期、6月から7月にかけては雨がたくさん降ります。



日本語版

2019年度 京都大学への留学案内

京都大学 国際教育交流課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

studyku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1>

